



2022年3月18日

各位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証第一部)
問合せ先 管理本部長 下舞 毅
(TEL. 0996-68-1140)

2022年2月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、その一環として、下記のとおり2022年2月度の月次受注残高を開示いたします。

記

1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	1,917	68.0%	7.9%	174.8%
FPD分野	760	27.0%	△8.3%	134.6%
その他分野	141	5.0%	1.7%	156.7%
合計	2,819	100.0%	2.7%	161.8%

2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	2021/3	2021/4	2021/5	2021/6	2021/7	2021/8
半導体分野	753	991	979	1,095	1,122	1,209
FPD分野	499	512	531	499	478	527
その他分野	27	8	27	26	34	67
合計	1,280	1,512	1,538	1,621	1,635	1,804

区分	2021/9	2021/10	2021/11	2021/12	2022/1	2022/2
半導体分野	1,399	1,486	1,626	1,732	1,776	1,917
FPD分野	533	620	776	740	829	760
その他分野	67	43	8	119	139	141
合計	2,000	2,151	2,411	2,591	2,745	2,819

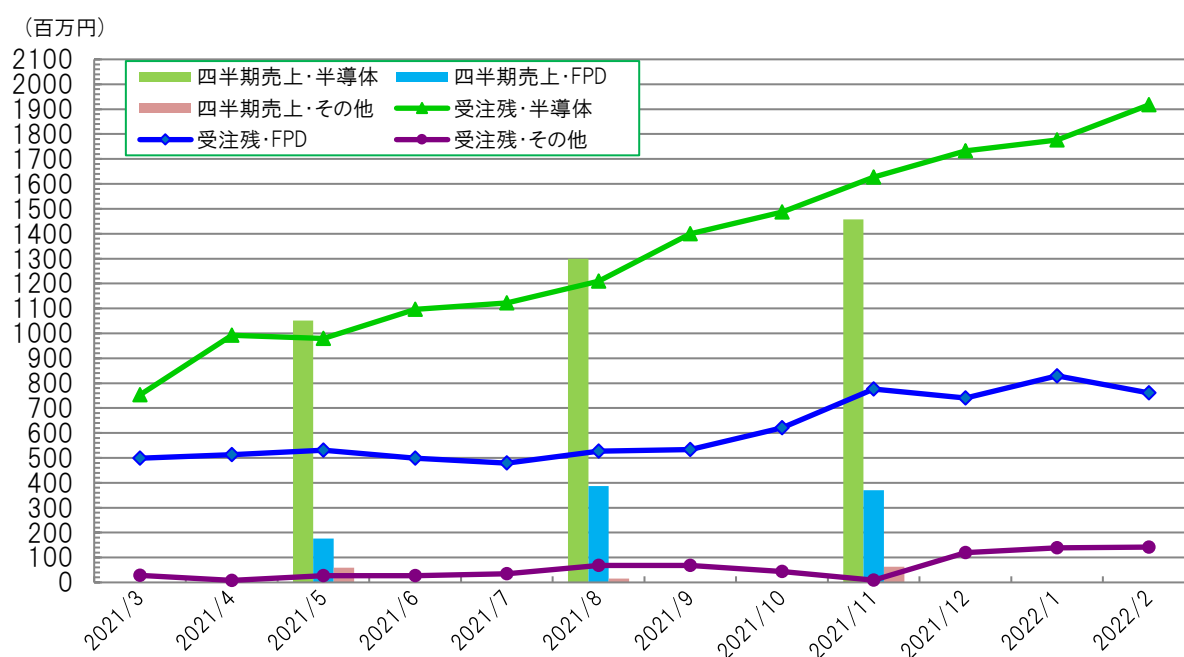
3. 月次受注残高の概況

2022年2月末の受注残高は、半導体分野においては、受注と出荷検収共に過去最高額を更新したことから、対前月増減率は7.9%増、対前年同月増減率では174.8%増の1,917百万円となりました。FPD分野においては、出荷検収が順調に推移したことから、対前月増減率は8.3%減、対前年同月増減率では134.6%増の760百万円となりました。その他分野においては、大きな変化はありませんでした。これらの結果、2022年2月末の受注残高は、対前月増減率2.7%増、対前年同月増減率161.8%増の2,819百万円となりました。

今後の見通しといたしまして、半導体分野につきましては、一部の顧客メーカーに部材不足の問題が残るほか、ウクライナ問題が市場に及ぼす影響が見通しにくい状況ではありますが、現時点では当社受注に大きな影響は出ておりません。需要は引き続き堅調であり、しばらくは好調さが続く見通しを持っております。また、FPD分野につきましても、一部に投資計画縮小の動きが出ておりますが、しばらくは現状程度の受注環境が続くことを予想しております。その他分野におきましては、太陽電池製造装置向けの受注が増加しております。これらのような好調な需要に対応する設備投資を行いながら生産も拡大させていく予定です。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。

3. 当社は、一部の取引で、得意先から材料を仕入れる有償支給取引を行っています。従来は売上高に有償支給材料の費用を含めて表示しておりましたが、当期より「収益認識に関する会計基準」を適用することにより、売上高から有償支給材料を除いた純額で表示することになります。

現時点の月次受注残高には8百万円の有償支給取引額が含まれています。なお、利益額に対する影響はありません。